

第七十三回帝國議會
衆議院

重要礦物増産法案外一件委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
石油資源開發法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月十日(木曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 森田 福市君

理事寺島 權藏君 理事長野 長廣君

理事中田 儀直君

栗山 博君

山田 清君

森下 國雄君

青山 憲三君

板谷 順助君

松木 弘君

野中 徹也君

道家齊一郎君

土倉 宗明君

同日委員土倉宗明君辭任ニ付其ノ補闕トシテ川島正次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 吉野 信次君

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 木暮武太夫君

燃料局長官 竹内 可吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

石油資源開發法案(政府提出)

○森田委員長 委員會ヲ開キマス、先ヅ大臣ニ對スル簡單ナ質問ヲ願ヒマス

○板谷委員 私ハ此際本案ノ條文中疑義ガアリマスルノデ、大臣ノ御意向ヲ確メテ置キタイト思フノデアリマス、第三條ニ「命令ノ定ムル所ニ依リ採油開始後五年間毎年採油價額ノ百分ノ二以內ニ相當スル金額ヲ納付セシムルコトヲ得」ト斯ウアリマスガ、之ニ付キマシテハ勿論利益ノナイモノカラ取ル御考ガ無論アリマスマイト云フコトト、又更ニ五箇年內ト雖モ助成金ニ滿チタル場合ニ於テハ、ソレヲ打切ルト云フヤウナ御意向デアルカドウカ、實ハ此委員會ニ於テモ、此本案ヲ修正シヨウト云フヤウナ意見モアツクノデアリマスルガ、其運用宜シキヲ得ルナラバ、此案デモ宜シイト云フヤウナ考カラ、此質問ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、此點ヲハッキリ此際承リタイ

○吉野國務大臣 御尤ナ御尋デアリマシテ、前段ノ御尋ハ御見解ノ通りデアリマス、詰リ利益ノアル場合ダケノ問題デアリマス、ソレカラ後段ノ御尋ニ付キマシテハ、是ハ

條文ニモ書イデアリマス通り、試掘助成金ヲ受ケタ人ノミナラズ隣接鑛區ノ方デモ、詰リ政府ガ試掘助成金ヲヤッタ爲ニ油田ガ開發サレタ場合ニハ、ヤハリ斯ウ云フヤウナ金ヲ納付セシムル、斯ウ云フ立前ニナッテ居リマスカラ、立法ノ趣旨ガ、ヤッタ金ヲ返ヘサセルト云フ趣旨デハナクシテ、詰リ公平ノ見地カラ、相當ノ利益ガアツタト云フ時ニハ此程度ノ金ヲ納付セシムルコトガ適當デアラウ、斯ウ云フ精神カラ來タノデアリマスカラ、必シモヤッタ金ニ滿チタト云フ場合ニハ、絕對ニ取ラナイト云フヤウナ立法ノ精神ニハナッテ居ラスノデアリマス、併シ御話ノ御趣旨ハソレ以上ニ取ルト云フコトハドウカト云フヤウナ御懸念モアルヤウデアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ百分ノ二以內ト云フノデ、是ハ百分ノ二ト釘付ニナッテ居ラナイノデアリマスカラ、其納付金ノ率ト云フヤウナモノノ場合ニ考慮致シマシテ、要スルニ業者ニ適當ナル負擔ヲ掛ケナイ、斯ウ云フ風ニスル積リデアリマシリマセヌガ、實ハ今モ申上ゲマスルヤウニ委員會ノ多數ノ意見ハ、此法案ハ別ニ政府

ガ儲ケルト云フ意味デハナク、所謂石油資源ノ開發ノ目的ニ於テ助成金ヲ出サレルコトデアルカラ、大體ニ於テ助成金ガ納付金ト同ジ程度ニ納ツタナラバ、ソレ以上ハ取ラスト云フコトガ、要スルニ資源開發ノ目的ヲ達スルコトニナルノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ意見ガ多數デアリマス、之ニ對シテ先般政府委員ノ方モ大體ニ於テ御同意ニナッタヤウニ承知シテ居ルノデアリマスガ、此處デ又大臣ノ御答辯ガ曖昧ニナルト問題ガ起リマスカラ、モウ少シハッキリ仰シヤツテ戴キタイ

○吉野國務大臣 一々御尤デゴザイマスガ立法精神ハ御覽ニナレバ分リマス通りニ、助成金ヲヤッタ人ダケカラ納付セシメルト云フノデヤナイノデアリマス、能ク實際問題トシマシテ鑛區ガ隣接シテアリマス時ニ、現在ニ於キマシテ中々睨ミ合ッテ掘ラナイ、其時ニ甲ノ鑛區ノ人ガ假ニ政府ノ助成金ヲ得マシテ、掘ッテ油ガ出タト云フコトデゴザイマス、隣接鑛區ノ人ハ反射的ニ當然油ガ出ルト云フコトガ分リマスカラ、ソコデ隣接鑛區ノ人ハ何等ノ危險ナシニ油ヲ掘ルト云フコトガ、實際ニ於テアル譯デアリマ

ス、サウ云フ場合ガアルカラ、寧ろ隣接礦區ノヤウナ助成金ヲ政府カラ貰ハナクトモ、政府ノ助成金ニ依ッテ油田ガ初メテ在油ガ確實ニナツタノデアリマスカラ、其反射的ノ利益ヲ受クル人ガ、唯一人助成金ヲ貰ッタ人ニ止マラズ、隣接礦區ノ人モアル譯デアリマスカラ、サウ云フ人ニ其業者ノ負擔ニ堪ヘル程度、過當ナ負擔ニナラヌヤウナ程度デ納付金ヲ命ズル、斯ウ云フ精神デゴザイマシテ、必シモ政府ガヤツタ金ヲ返ヘサセルト云フ立前ニハナッテ居ラスノデアリマス、ソレデアリマスカラ法律上ノ解釋ハ甚ダ遺憾ナガラ板谷サシノ御見解トハ違フノデアリマスケレドモ、併シ心持ハ業者ニメチヤナ負擔ヲ掛ケナイノダト云フ心持ニ於テハ、全然同感デアリマスカラ、此規定ヲ假ニサウ云フ場合ニ運用スル場合ニ於キマシテモ、百分ノ二以內トナッテ居リマスカラ、若シ御話ノヤウナ納付金ヲチャント取ッテシマツテ、ソレ以外ニ其後ニ尙ホ利益金ガアツテ、納付金ヲ命ズルト云フ場合ニハ率デ手加減ヲ致シマシテ、御話ノヤウナ精神ト略、近イ所ノ結果ヲ得ルコトニ努メル積リデゴザイマス

○板谷委員 次ニ尙ホ確メテ置キタイト思ヒマスガ、第七條ノ「石油礦業者他ノ石油礦業者ノ礦區ト隣接スル自己ノ礦區ノ境界

線ヨリ五十「メートル」以內ノ地域ニ於テ探掘ヲ爲サントスルトキハ礦利保護上必要ナル事項ニ付豫メ隣接礦區ノ石油礦業者ト協議ヲ爲スベシ」此點ニ付キマシテ、五十メートル云フコトガ餘リニ境界カラ離レ過ギテ居ル、御承知ノ通りニ日本ノ油脈ハ細長イノデアアルカラ、境界カラ五十メートル云フコトニナレバ、所謂石油資源開發ト云フコトハ要スルニ増産ノ目的デナケレバナラス、ソレニ副ハナイ、併ナガラ又一方政府ノ御説明ニ依ルト、濫掘ガアツテモ困ルト云フコトカラ、ソレデ委員ノ多數ノ意見ハ或ハ三十メートル以內ト云フ説ガ随分多クカッ、之ヲ修正シヨウデヤナイカト云フ意見モアツタケレドモ、併シ折角政府ガ斯ウ云フ法案ヲ御作りニナツタ、又濫掘ヲ防グ意味ニ於テハ御尤モナ點モアル、殊ニ五十メートル以內トナッテ居ルカラ所謂増産ノ目的ニ於テ、隣接礦區ニ對シテモ満足ヲ與ヘルヤウニ、石油ガアツタナラバ必ズ掘ラセルト云フヤウナ御趣意ニ於テ、之ヲ運用ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フ意味デアリマスガ、御所見ハ如何デアリマスカ

○吉野國務大臣 御意見ノ通りデ宜シウゴザイマス

○板谷委員 罰金ガ此法案デハ五千圓ニナツテ居ル、所ガ重要礦物増産法ハ二千圓ニナツ

テ大分懸隔ガアルノデ、五千圓ハ餘リ酷イデヤナイカト云フヤウナ説モ相當アルノデアリマスガ、要スルニ是モ運用デアアルカラ、此運用ニ付キマシテモ成ベクサウ過酷ナ罰ヲ食ハセナイヤウニ御考ヲ願ヒタイ、是モ一應御答辯ヲ願ッテ置キマス

○吉野國務大臣 刑罰ノ科スル方ノコトハ

御承知ノ通り、商工省ノ行政デアリマセヌ、唯申告スル方、摘發スル方ハ商工省ノ行政デアリマスカラ、十分御趣旨ニ副ヒマシテ、私共ノ考ハ是ハ實ハ斯ウ云フ罰ガアルゾト云フコトデ、豫防的ニ規定致シタノデアツテ、必シモ此罰ガアルカラト云ツテ、此罰ヲ一々適用スルト云フコトハ本旨デアリマセヌカラ、御趣旨ノ通りニ運用致シタイト思ヒマス

○板谷委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○山田委員 此提案ノ中ニハナイノデアリマスガ、委員會ノ議論トシテ相當質問ガアツタ中ニ、礦産税ニ關スル問題ガアリマシタ、ソレハ礦産税中鉛及ビ鐵ハ國防上極メテ必要デアルト云フノデ、免稅ヲサレテ居ル、石油モ鉛鐵ト同一以上ニ國防上必要ナルモノデアアル、ソレ故ニ人造石油或ハ天然石油資源開發法案ガ出テ居ルノデアアルカラ、石油ノ税ニ對シテモ礦産税ヲ免除シテ貰ヒ

タイト云フ意思ハ、極メテ濃厚デアリマシタガ、是ハ税ノコトデアリマスカラ、大藏省トモ關係ガアリマセウケレドモ、此點ニ付テ商工大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 産業關係ノ當局トシテ

ハ、私モ大體同感デゴザイマス、唯財政上ノ理由モゴザイマスノデ、其點ハ將來ノ問題トシテ財政當局ト折衝致シタイト思ヒマス

○松木委員 先日第十條ノ第二項ニ對シテ

政府委員ニ御問シマシタケレドモ、一寸ハッキリシナイノデアリマス、第二項ニ「政府ハ石油礦業者ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得」ト書イテアル、此處分ト云フコトハ一體ドウ云フコトヲ想定サレテ居ルノデアリマスカ、ソレヲ承ツテ見タイ、處分ト云フコトハ、是ハ頗ル重大ナ權利關係ノ問題ニ影響シテ來ルト思フノデアリマス

○吉野國務大臣 之ヲ考ヘテ居リスノハ、

極ク事務的ノコトデゴザイマス、例ヘバ斯ウ云フコトノ事項ヲ届出ロト云フコトノ、處分ノコトヲ考ヘテ居リマス、御承知ノ通り斯ウ云ツタヤウナ意味ノ規定ハ、私共ノ方ノ關係ノ産業法規ニ皆アルノデゴザイマス

ケレドモ、一寸御覽ニナリマス、命令處分ト書イテアリマスカラ、ドンナ事デモ出來ルヤウナ風ニ一寸御考ヘニナルカモ知レナイト思ヒマスケレドモ、吾々ノ立法ノ精神カラ申シマシテモ、其運用カラ申シマシテモ、是ハ極ク輕イ意味デアリマシテ、只今私自身デモ一寸ドウ云フ處分カト云フコトハ分ラナイ程ノ、極メテ事務的ナ問題デゴザイマス

○松木委員 ドウモ普通、處分ト言ヒマスト相當強イ意味ニ當ルコトニナルノデアリマス、併シ今御答辯ヲ聽キマシテ、左程強イ意味デナイト云フナラバ、是ハソレデ宜イト思フノデアリマスケレドモ、御承知ノ通り石油ノ開發ヲ獎勵ラシテ居ッテ、餘リ嚴重ナ監督干涉ヲ加ヘルト云フコトハ、其獎勵ノ趣旨ニ反スルト思ヒマスカラ、其點ハ十分御注意ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○川俣委員 一寸大臣ニ簡單ニ御尋致シタイト思ヒマス、日本ノ石油資源開發ノ上カラ、外油ノ輸入ニ付テ國家デモツト強制的ニ統制スル必要ガアルノデハナイカト思フノデス、殊ニ特設會社又ハ國家ガ殆ド獨占的ニ此輸入ニ對シテ「ガソリン」又ハ原油、石油製品或ハ殘滓等、國家的ニモツト強力ナ統制ヲスル必要ガアルノデハナイカト思フ、

ソレト相俟タナケレバ國內ノ資源開發ヲ、本當ニヤリ切レナイノデハナカラウカト思フノデアリマス、過去ノ例ヲ以テ御判斷願ヘバ能ク分ルコトデアリマス、餘リ議論ラシマセヌカラ、其點ニ付テ、モツト突込シテ御考ガアリマスレバ、承リタイト思ヒマス

○吉野商工大臣 其點モ私同感ノ點ガ少クナイノデアリマス、能ク考ヘタイト思ヒマス

○野中委員 色々外國ノ石油資源開發ニ付キマシテ、政府ノ考ヘテ居リマスコトモオアリニナルヤウデアリマスガ、先ヅ私ハ北樺太ニ於ケル石油資源開發、殊ニ「カタンダリ」方面ニ於キマシテハ、石油ガ掘ッデアツテモ此方ヘ持テ來ラレナイト云フ今日ノ實情デアリマス、斯様ナコトデハ是カラ先キ、北樺太ノ石油ノ需要ト云フモノハ非常ニ少クナルノデハナイカト思ヒマス、是ハ露西亞トノ關係事項デアリマスカラ、實ハ外務省ノ所管事項デアリマセウケレドモ、是ハ國策トシテ可ナリ強硬ナル意見ヲ以テ、其外交方面ニ臨ンデ戴キタイト思フノデアリマス、其外「ボルネオ」トカ「スマトラ」トカ云フ方面ニモアリマスガ、是等ニ對スル障礙モ少ナカラズアルヤウデアリマスガ、是等モ的確ニ將來ハ排除スル御方針デ進ンデ貰ヒタイト思フノデアリマスガ、御意見ハ如

何デアリマスカ

○吉野國務大臣 御趣旨ハ精々其通り努メタイト思ヒマス

○森田委員長 ソレデハ政府委員ニ對スル簡單ナ質問ナラ御許シシマス、併シ是ハ皆御考ヲ願ハネバナラスノハ、質問ノアツタ時ニ居ラレナカッタ方ガアリマスカラ、簡單ニ願ハナケレバナリマセヌ

○川俣委員 私出來ルダケ要點ヲ申上ゲマシテ、御質問申上ゲタイト思フノデス、國內ノ石油資源開發ニ付テ、色々政府ノ御苦心ノ點ハ諒承出來ルノデアリマスガ、尙ホ斯ウ云フ點ニ付テ御考置キラ願ヒ、又其方面ニ力ヲ入ル、コトニ依ツテ、本當ノ開發ガ出來ルノデハナカラウカト思ハレル點ガアルノデアリマス、是ハ政府ノ方ハ十分御承知ダト思ヒマスガ、石油ヲ採油致シマスル工作ニ於テ、熟練勞働者ノ可否、其能力ニ依リマシテ、成績ノ擧ラザルコトモ夥シイノデアリマシテ、斯ウ云フ熟練勞働者ニ對スル待遇ト言ヒマスガ、育成ト言ヒマスガ、養成ガ非常ニ後レテ居ルコトガ、又油田ノ探鑛、或ハ採油ノ場合ニ於ケル所ノ能率ヲ、低下スルコトニ相成ッテ居ルト思フノデアリマス、此點ニ付テ政府ガ御考ヘニナッテ居ル點ガアリマスレバ、御聽キシタイト思ヒ

マス

○竹內政府委員 熟練工ノ大切ナコトハ、各種產業ヲ通ジテ勿論共通ノ重要ナ問題ダト思ヒマス、石油ノ問題ニ付キマシテモ、是ハ採掘其他ノ事柄ニ付キマシテハ、十分政府トシテモ努力シナケレバナライナイ大切ナ問題ゾト考ヘテ居リマス

○川俣委員 大切ダト云フコトハ十分御考ニナッテ居リマセウケレドモ、ドウシテ之ヲ養成シ、如何ニシテ之ヲ指導スルカト云フヤウナ點ニ付テ、モツトハッキリシタ御考ガオアリニナリマスカドウカ

○竹內政府委員 今茲デ非常ニ短時間ニ簡單ニ御答モ出來マセスケレドモ、政府ニ於キマシテモ、是ハ施設ヲヤラナケレバナラスモノガアルト思ヒマス、同時ニ民間ノ企業者自身ニ於キマシテモ、自分ノ企業ノ爲ニ熟練工ヲ養成シテ行クト云フコトハ、是ハ非常ニ必要ナコトダト思ヒマスノデ、石油ノ問題ニ付キマシテモ、採掘上必要ナ熟練工ノ養成ト云フコトニ付キマシテハ、業者トモ十分協議ヲ重ネマシテ、萬遺憾ナキヲ期シテ行ク積リデゴザイマス

○川俣委員 ソコデ實際ニ表面現象ノ現レテ居ル或ハ天然瓦斯ガ發生シテ居ル場所、或ハ露頭ノアルヤウナ場所ヲ發見致シマス

ル際ハ、是ハ色々ナ所謂鑛山屋モ勿論探鑛ニ當ルノデアリマスケレドモ、探鑛屋ト相伴ツテ、ヤハリ熟練勞働者ノ意見ト

行カナケレバナラスコトダト、只今考ヘテ居リマス

○川俣委員 サウ御考ヘニナッテ居ルト云

云フモノヲ尊重シナケレバ、中々探鑛モ完全ニ行キ兼ねル状態デアルコトハ、多クノ人ノ能ク知ッテ居ラレル點ダト思ヒマス、併シ斯ウ云フ熟練勞働者、或ハ熟練工ハ、非常ニ散在致シテ居リマシテ、時ニハ不景氣ニ遭ヘバ轉業シナケレバナラスト云フヤウナコトモアッテ、折角長年ノ間經驗致シタモノヲ、其經驗ガ轉業ニ依ッテ埋モレテシマフト云フヤウナ場合モ、今マデ多クアッタノデアリマス、更ニ斯ウ云フ風ニ新シク資源ヲ開發シマスニ付キマシテハ、秋田ノ鑛山専門學校等ニ、モット程度ノ低イ、専門學校デナク、中等學校程度、或ハソレ以下ノ豫備的教育ヲスルヤウナ學校ヲ造ル、或ハ其學校ノ一部ヲ附屬學校トシマシテ、其方ノ養成ヲスルト云フヤウナ御考ハ、今ノ處オアリニナラスノデアリマセウカ

フコトデアリマスカラ、ソレヲ早ク實行ニ移シテ戴カナケレバ、折角斯ウシテ助成金ヲ出サレ、或ハ色々ナ方法ニ依リマシテ、政府ガ上部ニ於テ活動サレヨウト思ヒマシテモ、下部ノ、サウシタ組織ガ伴ハナケレバ、完成ヲ期シ得ラレナイト思ヒマスカラ、特段ニ其點ニ付テノ御注意ヲ、喚起致シテ置キタイト思ヒマス、更ニ進ンデ御尋致シタイノハ、私ハ今マデノ委員會ノ御議論ト一寸違ッタヤウナ御意見ヲ、御伺ヒスルヤウナ結果ニナルカモ知レマセスケレドモ、助成金ヲ現在受ケテ採油致シテ居ラレル方ニ於テ、斯ウシタ弊害ヲ私共ハ度々聞クノデアリマス、所謂鑛山屋ガ政府ニ助成ヲ求メマスカラ、場合ニ往々ニシテ——政府バカリヂヤアリマセヌ、一般ノ資金ヲ得ル際ニ於キマシテモ——石油ヲ掘ルヨリモ、オ金ヲ掘ルト云フヤウナコトヲ度々聞クノデアリマス、實際政府ノ助成金ヲ得ル爲ニ、二年モ三年モ奔走ヲシテ莫大ナ運動資金ヲ使フ、或ハ石油ヲ掘ルコトガ目的デナク、會社ヲ作ッテ、所謂資金ヲ集メルコトガ目的デアルト云フガ如キ弊害ヲモ、度々はハ耳ニスルノデア

リマス、併シ私ハ政府ガ助成金ヲ出スコトニ依ッテ、サウ云フ弊害ヲ伴フカラ恐レヲ爲シテ、助成金ヲ出スナト云フノヂヤ毛頭アリマセヌ、決シテ助成金ヲ出スコトニ付テ恐レヨトカ、或ハモット嚴格ニセヨト云フ意味ヂヤアリマセスケレドモ、併シ何故斯ウ云フ缺陷ヲ來シテ居ルカト云フナラバ、是ハ私ハ政府ノ態度ニ誤リガアルノヂヤナカラウカト考ヘテ居ル、ト云フノハ、ドウモ監督局、或ハ政府ニ於キマシテハ、組織ノ完備シタモノニ向ッテ助成金ヲ出サレルト云フカ、組織本位デアアルヤウニ考ヘラレル、私ハ度々調査ニ參ラレタ方ニ出會スノデアリマスガ、調査ニ參ラレタモ現地調査ヲスルト云フコトヨリモ、早ク宿屋ニ歸ッテ調査報告書ヲ書クト云フヤウナコトニ、重點ヲ置カレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、一日調査ヲスルナラバ一日掛ッテ調査報告書ヲ作ル、寧ろ現地ノ調査ヨリモ報告書ニ重點ヲ置クト云フ結果、所謂書式指導ニナツテ、實地指導デナイト云フ點ヲ、非常ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ助成金ヲ出スナト云フ私ノ意味デハナクシテ、大イニ出シテ獎勵シテ欲シイノデアルケレドモ、ソレハ組織トカ或ハ運動トカニ依ッテ出スト云フコトデナクテ、實際資源開發ニ適

當シタル所ニハ、サウ云フ運動ガナクテモ、寧ろ政府ガ積極的ニ實地ニ當ッテ指導サレルナラバ、モット效果のナ結果ヲ來スノヂヤナカラウカト、私共ハ考ヘルノデアリマスカ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

○竹内政府委員 試掘獎勵金ハ本當ニ有望ナ所ニ、之ヲヤラナケレバナラスノデアリマス、隨テ其獎勵金ヲ交付スルヤ否ヤノ判斷ガ、他ノ事情デ決マルト云フヤウナコトハ、是ハアッテハナラナイノデアリマス、只今御述ベニナリマシタ如キ、報告書ヲ書ク爲ニ出張ノ日時ガ潰レルト云フヤウナコトハ、マサカアルマイト思ヒマスケレドモ、十分戒告致シマシテ、左様ナコトノナイヤウニ、實地ノ調査ニ重キヲ置クヤウニ、努メテ行キタイト思ヒマス

○川俣委員 私ハ出張サレタ官吏ヲ攻撃スルト云フヤウナ考ハ、毛頭ナイノデス、本省ニ居ラレル人、或ハ鑛山監督局ニ居ラレル方ハ、比較的學術的ナ、科學的ナ知識ハ御持チニナッテ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、實地ニ當ッテ居ラレナイ爲ニ、現場ニ行カレマシテモ、或ハ探鑛指導ニ參ラレマシテモ、意見ヲ聞イテ居ル所ヲ見ルト云フト、地質學の説明ハ致シテ居ラレマスルガ、本當ノ、實際ドウダスダト云フ

點ニ付キマシテハ、主ニ案内シテ貰ッテ居ル人ニ、却テ教ヘラレテ居ルヤウナ傾キガ往々アルノデアリマス、私ハソレヲ非難スル考ハ決シテアリマセス、併シ本當ニ資源ノ開發ヲ爲サルニハ、ヤハリモウ少シ技術者モ實地ニ當ラセテ、半年カ一年位ハ石油山デ苦勞サセテ、サウシテソレ得タ貴イ經驗ト相俟ッテ、指導スルノデナケレバ、是ハ指導スルト云フヨリモ、私共ノ往々出會ハスヤウニ指導サレルコトニナル、ドウモ會社ノ實地ノ技術者アタリカラ、政府ノ鑛山監督局ノ技師ノ方ガ、指導サレテ居ルヤウナ感ジラ懷クノデス、ソレハソレ決シテ惡クハアリマセスケレドモ、石油資源ノ開發ニ政府ガ全力ヲ注グト云フコトニナリマスルナラバ、其方面ニ於テモ民間ノ經驗者ヲ鑛山監督局ノ囑託ニスルナリ、又ハ正式ニ官吏トシテ雇入レテ、モット經驗ヲ積ンダ立前カラ指導サレナケレバ、好結果ヲ來シ得ナイト私共ハ考ヘルノデスガ、此點ニ付テノ御意見ヲ伺ッテ置キマス

○竹内政府委員 石油資源ノ開發ヲ效果アラシメルヤウニト云フ御趣旨デアリマスガ、其御趣意ニ副ヒマスヤウニ十分運用上、留意シテ行キタト思ヒマス

○川俣委員 モウ一點ダケ御伺致シマス、

助成金ヲ受ケテ居ル鑛山主ガ、助成金ノ全部ヲ使ッテ居ルカドウカト云フ點ニ付テ、非常ニ曖昧ナ點ガ多々アルノデス、其助成金ガ眞ニ石油資源ノ開發ノ爲ニ使ハレテ居ルナラバ、是非共モット多ク助成金ヲ出サレテ、サウシテ開發ヲサレタイト思フノデスケレドモ、ドウモ私共ノ現在知ッテ居ル範圍ニ於キマシテモ——私ハ名前ヲ舉ゲテモ宜イト思ヒマススケレドモ、名前ヲ舉ゲルコトハ遠慮シマスガ——助成金ノ半分モ使ッテ居ラレナイ鑛業權者ガ、三人アルノヲ知ッテ居ルノデス、サウ云フコトガアリマスノデ、政府ガ折角助成金ヲ出シテモ、資源ヲ開發スルト云フ目的ニハ、勿論是ハ副ハナイノデアリマス、ソレニ對シテ罰金ヲ取ルトカ云フコトハ第二デアリマス、モットヤハリ本當ニ探油出來ルヤウナ方法ニ、助成金ヲ與ヘルコトガ惡イノデヤナイ、助成金ヲ與ヘル場所ガ惡イト云フコトデヤナイカト思フ、結局鑛業權者モ政府ト相俟ッテ、モウ少シ道德的ニナルコトガ必要ダト思ヒマスケレドモ、所謂曰ク付キノ鑛業權者ニ對シテハ、相當考慮ヲ要スルノデヤナイカト思ヒマス、是ハ所謂地方ノ上總掘ヲヤッテ居ルトカ、或ハ漸ク金ヲ集メテ網式ノ掘進ヲヤッテ居ルト云フヤウナ人ニハ少クシテ、寧

ロ所謂鑛山「ブローカー」ガ介在シテ居ルヤウナ鑛區ニハ、往々ニシテ斯ウ云フコトヲ見受ケルノデアリマス、殊ニ一ツ例ヲ舉ゲテ置キタイノデアリマスガ、秋田縣山本郡響村ノ某鑛業權者ガ持ッテ居リマス響石油鑛業所ノ如キハ、政府カラ助成金ヲ貰ヒマシタノデ、古釜ヲ買ッテ來タ、助成金ハ大體新釜ノ計算ニナッテ居ルノデセウガ、古釜ヲ買ッテ來テ、其爲ニ此間爆發ヲ致シマシテ、二三人坑夫ガ死ンデ居リマス、斯ウ云フコトモアルノデアリマシテ、鑛山監督局アタリハ知ッテ居ル筈ナノデアリマス、是ハ一ツハ助成金ガ二分ノ一ト云フヤウナコトデ、助成金ノ額ガ少カッタト云フコトニモ原因スルノデアリマセウカラ、今度三分ノ二ト云フコトニナリマスレバ、サウ云フ古釜、或ハ古鐵ヲ買ッたり、或ハ古道具ヲ買ッテ探油スル、或ハ探鑛スルト云フヤウナ點ガ、餘程防ガレルト思ヒマス、デスカラ比較的少クナル思ヒマススケレドモ、ヤハリ是ハ實地ニ當テ、書式上ノ問題デナク、實際上鑛業權者ノ品格ナドニ付テモ、十分考ヘラレル必要ガアルト思フ、本當ノ大鑛業者ハソナコトハアリマセス、又小鑛業者ガ全財産、或ハ全生命ヲ抛ッテ、一生ノ間ニ一ツモ當テナカッタ、當テタト云フヤウナ

コトデ、上總掘等ニ依ッテ探鑛シテ居ルノモ澤山アル、サウ云フ眞劍ニ探鑛シテ居ル方面ニ付テハ、政府ガ書式ト云フヤウナコトニ重キヲ置カナイデ、サウ云フ點ニ不完備ナ點ガアリマスレバ、寧ロ政府ガ拵ヘテヤルト云フ位ニシマシテ、實際ニ探鑛ニ當ッテ居ル方面ニ助成金ヲ出サレルコトガ、石油資源開發ノ要諦ダト私共ハ考ヘルノデアリマス、其點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○竹内政府委員 只今具體的ニ例ヲ舉ゲテ御述ベニナリマシタコトハ、私共ノ執務ノ上ニ於キマシテ、大イニ參考ト致シテ承リマシタ、要ハ助成スベキハ助成シ、監督スベキハ嚴重ニ監督致シマシテ、開發ノ目的ヲ十分舉ゲルコトニ努メタイト考ヘマスコトデ

○小野委員 私ハ先ヅ我ガ燃料國策ノ根本ニ付テ、御尋ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、燃料局長官ハ大臣ニナッタ御積リデ、御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、商工省デ今オヤリニナッテ居ル又オヤリニナラントスル燃料國策ニ付テハ、既ニ制定セラレテ居リマスル所ノ石油事業法、竝ニ今度ノ法律ノ二本立デオヤリニナル御考ダト私ハ思フノデアリマスガ、政府ハ曩ニ公布實施シテ居リマスル所ノ石油事業法ヲ、御改正ニナル御

意思ハナイカドウカ、石油事業法ノ實施ニ依ッテ、我が石油國策ハ確ニ一歩前進ヲ見タコトハ明カデアリマス、併ナガラ此法律ハ、時局ノ要求ノ見地カラ致シマシテモ、制定當時既ニ重大ナ不滿ガアツタ思フノデアリマス、ソレハ此結制ガ消極的ナ安定ト、貯油ダケヲ眼目トシテ、積極的ニ資源ノ獲得或ハ開發等ニ、殆ド何等ノ助成ノ工作ヲ考ヘテ居ナカッタ云フ點デアル、デアリマス、某業界ノ「エキスパート」ト目サレル人ガ此法律ニ對シテ、現在ノ石油事業法ナリ當局ノ統制方針デハ、業界ノ統制ハ勿論、石油業ヲシテ國家ノ絶對的統制管理下ニ置タコトハ不可能デアル、殊ニ業法ハ表面的事態ニノミ捉ハレテ居テ、開發其他ニ積極性ヲ持タヌコトハ遺憾デアル、石油資源ニ乏シイ我國ハ、業法ニ外國油田ノ開發調査、内地油田ノ開發等ノ積極的活動ヲ與ヘテこそ、初メテ有意義デアリ、是ガ業法ノ眞使命デアラネバナラスト、斯様ニ此法律ヲ非難シテ居ルノデアリマスガ、其缺點ヲ補フ意味デアリマセウカ、新ニ此法律案ヲ御出シニナツタ思ヒマスガ、本法ニ依リマシテモ内地油田ノ開發計畫ガ、其規模極メテ貧弱デアルコトハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、曩ニ土倉委員カラモ、サウ云フ御

趣旨ノ御質問ガアツタヤウニ、唯本法ノ實施ニ依ッテ政府ノ爲サントスル所ハ、爲サザルニ優ルト云フコトヲ申サレタヤウデアリマスガ、私モ其考ニハ同感デアルノデアリマス、政府カラ頂戴致シマシタ資料ヲ拜見シマス、政府ハ五箇年計畫ノ一部トシテ、昭和十三年度ニ於テ百七十二萬圓ヲ計上シテ試掘ノ助成、増産ヲ御圖リニナツテ居ルヤウデアリマスガ、一方ニハ基本調査トシテ七箇年計畫、即チ昭和十三年度カラ十九年度ニ互ル基本調査ヲ、若干ノ金ヲ掛ケテヤラレルヤウデアリマス、又此五箇年計畫ハ昭和十三年度カラ十七年度ニ互ルモノノヤウニ考ヘルノデアリマス、而シテ其内容ハ二百四十本ノ試掘井ヲ御選ビニナツテ、其中カラ十三年度ニ於テ三十五本ノ井戸ヲ助成スルト云フヤウナ御計畫ノヤウデアリマスガ、私ハ此際五箇年計畫ノ全貌ニ互ル豫算ノ御見込デモ宜イカラ、御示シ願ヘレバ願ヒタイト思フノデアリマス、更ニ現在ニ於ケルト申シマスガ、此法律ノ公布ニナリマシテマダ間モナイコトデアリマシテ、サウ云フコトヲ申上ゲルノハ無理カトモ存ジマスルガ、代用燃料、即チ石炭液化ノ問題、或ハ混合燃料、「アルコール」ノ問題、是ノ生産狀態ハ其後ドウ云フ所マデ進行シテ居リマスカト云フ其後

ノ狀況ヲ、此際併セテ承ッテ置キタイト思フノデアリマス、次ニ國外石油資源ノ獲得ニ付テ承リタイノデアリマス、是ハ道家委員カラモ「ニューギニア」ノ油田ニ付テ御尋ガアツタヤウデアリマスガ、單ニ「ニューギニア」ト云ハズ、蘭領東印度方面ニ於ケル「ジャワ」「ボルネオ」「スマトラ」及ビ葡萄牙領ノ「チモール」島ノ一帯ノ鑛區中ニハ、從來我國ニ對シテ賣込ノ交渉ガアツタト云フコトヲ伺ッテ居リマス、又現ニ既ニ我が業者、是ハ日石、三井ト云フヤウナ所ガ、其利權ヲ持ッテ居ル所モアルヤウニ聞イテ居リマスガ、是等ニ對シマシテ、先程大臣カラモ簡單ニ御話ガアツタヤウデアリマスガ、政府ハ今日ノヤウナ非常時局下ニ於テ、是等ニ對シテ一段ト助成ヲ加ヘマシテ、積極的ニ同地方ノ資源ノ開發ニ乗出シ、シツカリ其資源ヲ押ヘ、サウシテ更ニ調査開發ヲ加ヘル御意思ガアルカドウカト云フコトヲ此際先ヅ伺ッテ、御答ヲ得マシテカラ次ニ移リタイト思ヒマス

○竹内政府委員 試掘計畫ノ昭和十三年度以降五箇年間ノ、商工當局トシテ持ッテ居リマスル計畫ハ、其金額約一千二三萬圓ニ上ルノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ人造石油並ニ「アルコール」ノ生産狀態ニ付テノ御尋デアリマシタガ、人造石油ノ方ハマダ現實ニ市場ヘ物ヲ出シテ居ル數量ガ、極メテ僅カデアリマス、昨年成立致シマシタ法律ニ依ッテ、人造石油ノ製造事業ヲモ助成シ、又人造石油事業ニ對スル投資會社トシテノ帝國燃料興業會社モ、今年ノ初ニ出來マシタノデ、出來ルダケ急ギマシテ、人造石油ノ生産ニ努力ヲ致シタイト思ヒマス「アルコール」ノ方モ豫定ヨリ少シ遅レマシタアレドモ、大體此夏頃カラ揮發油ニ混合シマスル法律ヲ施行シ得ルダラウト考ヘテ居リマス、海外資源ノ獲得ニ付キマシテモ、非常ニ是ハ重要ナ問題デアリマスノデ、從來モ商工省ダケデアリマセヌノデ、關係省ノ間デソレノ助成ヲシテ來テ居ルノデゴザイマス、來年度ニ於キマシテモサウ多クノ金額デハアリマセヌガ、之ニ助成ヲ致ス積リデアリマス、此仕事ハ國際的ニ微妙ナ關係ガアリマスノデ、唯徒ニ聲ノミヲ大キクシテ大々的ニヤルト云フヤウナコトヲ言フノハ、如何ナモノデアラウカト實ハ考ヘテ居リマスガ、其重要性ノアルコトハ政府モ能ク考ヘテ居リマスノデ、遺憾ナクヤッテ行キタイト思ヒマス

○小野委員 現在ノ時局ハ申上ゲル迄モナク極メテ重大デアリマス、政府ハ國家總動員

法ト云フヤウナ法律マデモ議會ニ出シマシテ、其協賛ヲ求メテ居ルヤウナ狀態デアノデアリマス、此總動員法ニ對シテハ、次ニ來ベキ戰爭又ハ事變ニ備ヘヨウトシテ居ル、所謂準備ヲシテ居ルモノト私共ハ解スルノデアリマス、然ルニ此國防、産業ノ重要ナル役制ヲ演ズルト申シマセウカ、其原動力ノ重要ナル一部ヲ成シテ居ル所ノ石油即チ液體燃料ガ、外國依存デナケレバ間ニ合ハナイト云フヤウナ狀態ガ、今日依然トシテアル譯デアリマス、併ナガラ萬一總動員法ガ實施サレルヤウナ不幸ナ事態ガ招來サレマシタナラバ、當然外國依存ヲ斷念シナケレバナナイヤウナ事態ヲ生ズルコトハ、言フ迄モナイト思フノデアリマス、彼ノ「エチオピア」戰爭ニ際シマシテ、英國ガ石油ノ封鎖ヲ以テ伊太利ヲ威嚇シタコトハ、吾々ノ記憶ニ餘リニモ生新シイ事實デアリマス、果シテ然リトスレバ、國內油田ノ開發ヲ第一トシテ、更ニ代用燃料ノ増産ト、日本ノ海軍ノ力ヲ以テ押ヘ得ル所ノ、運搬ノ可能性ヲ有スル所ノ南洋方面ノ油田ヲ確保スルト云フコトガ、私ハ急務中ノ急務デアルト信ズルノデアリマス、代用燃料ノ生産ニ付テ、石炭液化ニ對シテハ相當多額ノ資本ヲ入レ、政府ハ其生産ニ努力セラレテ居リマス、只今

御説明ヲ伺ヒマシテモ、マダ餘リ市場ヘハ澤山出テ居ラスガ、將來ハ相當ナ成績ヲ擧ゲ得ルヤウナ御心持ノヤウニ拜聽シタノデアリマス、私共カラ見マスレバ、此石炭液化ノ代用燃料ハ、非常ニ金ガ掛ル割合ニ、其生産ハサウ容易クハ參ラヌト思フノデアリマス、ソレ程此代用燃料ニ金ヲ掛ケルナラバ、先ヅ第一ニ國內油田ノ開發ノ方ニ力ヲ御入レニナツタ方ガ得策デハナイカ、斯様ニ思ハレルノデアリマス、而モ此國內油田ノ開發ノ方ハ非常ニ手緩イヤウニ、私共ハ素人ナガラ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、承ル所ニ依リマス、内地ニ於ケル所ノ試掘鑛區ノ面積ガ六億一千万坪、又探掘鑛區ノ面積ガ一億二千万坪デアッデ、其探掘鑛區ノ一割ヨリマダ探掘シテ居ナイト云フコトデアリマスガ、勿論此數字ハ昭和十年頃ノモノデアッデ、現在デハ多少變テ居ルカモ存ジマセスガ、若シ大變ナ相違ガアルナラバ、最近ノモノヲ御知セ願ヒタイト思フノデアリマス、政府カラ頂戴シタ資料ヲ拜見シテモ、伊太利デハ四千二百万「リ」ラ、獨逸デハ四百万金馬克乃至五百万金馬克ト云フヤウナ、相當澤山ナ金ヲ掛ケテ試掘ヲヤッテ居ルヤウデアリマス、殊ニ獨逸ハ最近私共ノ同志ノ中野君ガ歸ッテノ話ヲ聽イテ見マ

スルノニ、大變ナ騒ギデ一生命ニナッテ、至ル所掘ッテ居ルサウデアリマス、有リモシナイヤウナ、彼處ヲ掘ッテ有ルノカ知ラト云フヤウナ所ヲ、盛シニ掘ッテ居ルサウデアリマス、一寸聽イデ、有リモシナイ所ヲ掘ルノハ愚ノ骨頂ダト一言ニ言ハレ、バソレダケノ話デアリマスケレドモ、總テノ方面ニ斯ウ云フ努力ト熱意ガアル所ニコソ、新シイ發明ニ、或ハ其他ノ方面ニ頭ヲ擡ゲテ居ル所ノ新興獨逸ノ眞ノ姿ガ窺ハレルノデアルト、私共ハ考ヘルノデアリマス、又佛蘭西ハ燃料局ヲ設ケテ盛シニヤッテ居ルサウデアリマス、日本ノ燃料局ハ佛蘭西ノ型ヲ採ツタト云フヤウニ聞イテ居リマスガ、唯佛蘭西ト違フ所ハ、佛蘭西デハ燃料局自身ガ可ナリ巨大ナ豫算ヲ持ッテ居ル、是ハ無論何箇年計畫カデ議會ノ協賛ヲ經テ、最初ニ何箇年カノ豫算ヲ取ツタノダト思ヒマスガ、相當大仕掛デ調査モスレバ助成モスルト云フ風ニ、聞イテ居ルノデアリマス、又政府カラ頂戴シタ資料ヲ拜見シマシテモ、獨逸ハ千九百三十三年カラ千九百三十六年マデノ間ニ、其生産ガ倍加シテ居ル、然ルニ日本ハソレト同ジ期間ニ於テドウカト云フト、五割ノ増加ニ過ギナイ、斯様ニ見マスルナラバ、日本國內ノ石油資源ノ開發ニ付テノ努

力ガ、マダノ足ラスト云フ結論ニナルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、殊ニ今次ノ事變ニ當リマシテハ、議會ニ於テ既ニ八十億ニ近イ所ノ事變費ヲ協賛シテ居ルノデアリマス、而モ石油ガ國防竝ニ銃後産業ノ一大原動力デアアル點カラ考ヘマシテモ、油ナシニハ決シテ戰爭ノ遂行ガ出來ナイト思フノデアリマス、勿論我國ノ貯油ガ現在幾ラアルカ、ソレハ極秘ニ屬スル所デ、御伺スルコトガ出來ナイトハ考ヘルノデアリマスガ、萬一ノ場合ヲ想像スル時ニ、私共ハ憂慮ニ堪ヘナイ次第デアリマス、俗ニ油ガ切レタト云フコトヲ申シマスガ、油ガ切レタト云フコトハ、總テノ活動ガ止マルト云フ意味ニナルト思ヒマス、洵ニ油ガ盡キタナラバ、ソレコソ大變ナ結果ニナル、ソレニ對シテ探掘鑛區一億二千万坪ノ中、其一割ヨリマダ探掘シテ居ナイト云フヤウナコトデアルナラバ、マダノ此方面ニ力ヲ入レル餘地ガ多イト私ハ思フノデアリマス、今日ノ戰爭ハ、前ニモ申上ゲマシタヤウニ決シテ戰鬪行爲ダケデハ勝敗ハ決マラナイ、斯ウ云フヤウナ直接、間接ニ戰爭ニ關係ノアリマス所ノ油田ノ開發ニ、商工省ハ一段ト積極的ニ乘出シテ、只今伺ヒマシタ處デハ一千二百万圓ノ豫算ダト思ヒマスガ、

ソレヲ十倍、二十倍ニシテ、一億デモ二億デモ金ヲ掛ケテヤルコトハ、決シテ私ハ此事變下ニ處スル國策トシテ、無理ナコトデハナイト思フ、又今日マデノ商工省デ御骨折ニナッデヤリマシタ内地油田ノ開發ニ對スル助成ノ成績ヲ見デミマシテモ、決シテ無駄ニハナッデ居ラヌヤウニ承知ヲスルノデアリマス、ドウカ政府ハ此點ニ對シマシテ一段ノ御努力ヲ願ヒ、一段ノ跳躍ヲ試ミントスル御決心ガアルヤ否ヤト云フコトヲ、此際伺ッテ置キタイト思ヒマス

○竹内政府委員 内地資源ノ開發ガ非常ニ急務デアリマスルコトハ、此委員會ノ始メカラ縷々皆様ノ御述ニナリマシタ所デアリマシテ、商工省ニ於キマシテハ、此問題ニ付キマシテ十分努力ヲスルト云フコトハ、先程板谷委員ノ御尋ニ對シマシテ、商工大臣ガ御答ヲ申上ゲタ通りデアリマス、大イニ努力致シマス

○小野委員 委員長

○森田委員 小野君、マダ質問デスカ

○小野委員 モウ一點デス

○森田委員長 今日ハ申合セニ依ッテ簡單ナコトダケト云フコトニナッデ居ルノデスカラ……

○小野委員 簡單デス——更ニ最後ニ御尋

ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、臺灣ノモノハ臺灣總督府デヤッテ居ル、樺太ノ獎勵ハ樺太廳デオヤリニナッテ居ルヤウデアリマスガ、海外ノ資源ノ開發ト併セマシテ、將來之ヲ商工省一本デオヤリニナル御考ガゴザイマセヌカ

○竹内政府委員 是ハ行政機構ニ關係ノアルコトデアリマスルノデ、此處デ極ク大難把ナコトヲ申上ゲル譯ニ參ラナイノデアリトスガ、併シ資源ノ開發ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ十分各官廳連絡ヲシテヤラナケレバナリマセヌシ、又現在ニ於キマシテモ各廳ト十分緊密ニ連絡ヲ致シテ居リマスノデ、今此處デ之ヲ行政機構上統一シナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ、考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマス

○森田委員長 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、直チニ討論ニ入リマス——長野君

○長野委員 私ハ民政黨ヲ代表致シマシテ、原案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表シマス、政府ハ石油、殊ニ天然石油資源開發ノ重要性ニ鑑ミマシテ、本法案ヲ提出セラレマシタルコトハ、洵ニ本問題解決ノ第一歩ヲ踏ミ出シタ譯デゴザイマシテ、欣幸ニ堪ヘナイ次第デアリマス、然ルニ此法案ノ内容ヲ檢討致シマスルト、之ヲ以テシテハ到底時局ニ即

應スルダケノ效果ヲ擧ゲルコトハ出來ナイト考ヘルノデアリマス、更ニ飛躍的、劃期的ノ政策確立ニ御盡力ヲ願ハナケレバナラヌト存ズル次第デアリマス、就キマシテ、此時局竝ニ我ガ日本ノ石油資源開發上要求致シマスル所ノ施設ニ付キマシテハ、今後急速ニ一層ノ御研究ト御調査トヲ進メラレ、サウシテ其大策ノ斷行ヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス、此機會ニ於キマシテ、私共ハ附帶決議トシテ二ツノ項目ニ付テ、要望ヲ致シタイト存ジマス

附帶決議

一、政府ハ昭和十三年度分ヨリ助成金ヲ多額ニ増加シ劃期的試掘ヲ行ハシムヘシ

一、政府ハ本法第三條ノ施行ニ當リテハ利益ナキ者ヨリハ之ヲ徵收セサルコト尙納付金カ助成金ニ達シタル時ハ之カ徵收ヲ打切ルヘシ

右ニ就テハ今迄論ジ盡サレタノデアリマスカラ、特ニ今更ニ要シナイ所ト思ヒマス、何分政府ト致サレマシテハ、是等ノ點ニ付テ更ニ一層ノ御熱意ヲ以テ、之ガ解決ニ御取掛リ下サランコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス

○森田委員長 板谷君

○板谷委員 只今長野君ヨリ民政黨ヲ代表シテ附帶決議ヲ附シテ、原案贊成ノ御意見ノ發表ガアリマシタ、私ハ政友會ヲ代表シテ同ジク附帶決議ヲ附シテ原案ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、先般來大臣ハ我國ノ燃料國策トシテ、人造石油及ビ天然石油ヲ以テ、向フ五箇年間ニ我國ノ需要ニ對スル半額ヲ供給シ得ルト云フ確信ガアルト云フコトヲ、屢、言明サレタノデアリマス、併ナガラ政府ノ施設シテ居ル所ヲ見マシテモ、或ハ今回御提案ニナッタ石油資源開發ノ法案ヲ見マシテモ、私ハ恐ラクハ此程度デハ、將來其希望ニ副フコトハ殆ド不可能デアラウト思フノデス、先ヅ第一ニ人造石油ニ付キマシテハ、此委員會ニ於キマシテモ屢、申上ゲタ通り、未ダニ努力中デアルト云フ御言葉デアアルガ、是ハ既ニ會社モ出來テ居リ、役員モ決ッテ居ルコトデアルカラ、出來ルダケ迅速ニ御運ビヲ願ヒタイト云フコトト、又天然石油ノ開發ニ付キマシテハ、我黨ノ議員ノ方ヨリモ、本會議ニ於テ色々御質問ガアツクノデアリマスガ、本年度ノ百七十万圓ノ豫算ノ如キ、極メテ僅少デアリマス、到底斯ル金額ヲ以テ其目的ヲ達スルコトハ、不可能デアリマス、デアルカラ或ハ本年度ニ於テモ若シ間ニ合ッタナラバ、更ニ豫算ヲ

増加シテ、追加豫算トシテ出サレルヤウニ御配慮アリタイ、殊ニ五箇年計畫ニ於テ此石油増發ト云フコトニ付テ、政府モ色々御考ニナッテ居ルノデアリマスケレドモ、斯ル不徹底ナコトデアッテハ、到底今申上ゲマスヤウニ五箇年間ニ半額ノ供給ト云フコトハ、私ハ不可能デアルト思ヒマスカラ、一層御努力ヲ願ヒタイ、尙ホ助成金ノ問題ニ付キマシテハ、只今川俣委員ヨリ其弊害ヲ指摘サレテ、色々御話ガアツクノデアリマスガ、私モ此點ニ付テハ同感デアリマス、獨リ石油ノ助成金バカリデナク、或ハ他ノ礦物ニ對スル助成金ニ付キマシテモ、果シテ從來助成ノ目的ヲ達シテ居ルヤ否ヤ、大イニ疑問ガアルノデアリマス、勿論政府ハ助成ヲ出スト云フコトニ付キマシテ、地下ニ埋沒サレテ居ル油脈デアリ、礦物デアリマスカラ、十分ナ御調査ガ出來スコトハ御察シハスルケレドモ、兎角此助成金ヲ配付サレタル從來ノ成績ヲ見マス、割合ニ其成績ガ舉ッテ居ラス、斯ウ云フ憾ガアルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、或ハ政府ノ役人ノ方ガ其監督ガ不十分ト言フカ、或ハ又技術ニ足ラザル點ガアルト言フカ、是ハ率直ナ言葉デアリマスガ、將來助成金ヲ増スト同時ニ、此助成金ノ目的ヲ達スルト云フ

コトニ付テハ、十分ナル注意ヲ以テ當ッテ戴キタイ、國費ヲ濫費セザルヤウニ十分ナ御考ヲ以テ當ッテ戴キタイ、斯ウ思フノデアリマス、其他ノ附帶決議ニ付キマシテハ、先程大臣ヨリ本議場ニ於テ委員多數ノ意ノ在ル所ヲ能ク御酌取リニナリマシテ、御言明ヲ得タノデアリマスカラ、此點ニ付テハ省略致シマスガ、本委員會ニ現レマシタル委員諸君ノ意見ヲ能ク御尊重ニナッテ、善處セラレンコトヲ希望致シマシテ、贊成ノ意ヲ表シマス

○森田委員長 川俣君

○川俣委員 私ハ先程申上ゲタ中ニ、私ノ黨ノ希望モ加ヘテアリマスノデ、大體御諒解ニナッテ居ルト思ヒマスカラ、出來ルダケ省略シテ、本案ニ付テ贊成ノ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、本案ニ付テハ私共ハ絶大ナル贊成ノ意ヲ表シ、サウシテ政府ヲ鞭撻致シタイト思フノデアリマス、問題ニナリマシタ七條等ニ付キマシテモ、私共ハ寧ろ本條ガ非常ニ適當デアルトスラ考ヘテ居ルノデアリマス、唯御承知デモアリマセウガ、所ニ依リマシテハ所謂「ボンピング・パワー」ト云フヤウナコトデヤラナケレバナラナイヤウナ場所モ、ナキニシモアラズデス、隨テサウ云フ點ニ付テハ無論適當ニ處置サレル

コトト思ヒマスケレドモ、今日ノ弊害ハ段々深度ガ深クナルニ隨ヒマシテ、爭ヒモ非常ニ大キナリマシタ際デアリマスルカラ、五十米ト云フ距離ヲ置カレルコトハ、私ハ當然デアルトスラ考ヘテ居リマス、併ナガラ尙ホ先程申上ゲマシタヤウニ、「ボンピング・パワー」ノヤウナ裝置ガ必要ダト云フヤウナコトニナリマスレバ、其際ハ又政府ガ適當ニ考ヘラレルコトダト思ヒマスカラ、此七條ノ點ナドニ付キマシテハ、私共ハ寧ろ贊成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、尙ホ附帶決議ノ一ニ付キマシテハ、私共ハ同意致シタイノデアリマスガ、附帶決議ノ後ノ部分ニ付キマシテハ、私共ハ遺憾ナガラ贊成シ兼ネルノデアリマス、私共ハ寧ろ逆ニ考ヘテ居ルノデス、此助成金ニ達シタル時ハ之ヲ徵收セザルコト、或ハ利益ヲ取ラザルコトト云フ考ニ付テハ、私共ハ決シテ不贊成デアリマセスケレドモ、大體探油致シマシテ、油田ニ當ツタコト云フコトニナリマスレバ、百分ノ二、或ハ百分ノ三、或ハ百分ノ五位出シマシテモ、何等苦痛デハナイト思フノデス、寧ろ礦業權者ノ側カラ言ヒマスレバ、多ク出シテモ政府ノ方デ、モット積極的ニ助成金ヲ出シテ呉レト云フコトニナリマスレバ色々ナ運動デアルトカ、色々ナ面倒ナ手續

ヲ經テ、或ハ願出テカラ三年、四年經ッテカラ、助成金ヲ貰フト云フコトヨリモ、若シモ政府ノ方デ積極的ニ助成金ヲ呉レト云フコトニナリマスレバ、當ッテ際ニ於ケル百分ノ二や百分ノ三ノ金額ヲ納付スルト云フコトハ、私ハ簡單ナコトダト思フノデス、又サウ云フヤウニシテ多ク納付セシメタカラ、又探礦ニ御使ヒニナルコトノ方ガ、私ハ寧ろ適當ダトスラ考ヘテ居リマスノデ、折角ノ附帶決議デアリマスケレドモ、私共ノ黨ト致シマシテハ、實ハ贊成致シ兼ネルノデアリマス、ソレカラ私共トシテ希望條項ヲ申上ゲテ置キタイノハ、先程申上ゲマシタヤウニ將來益、石油資源ノ開發ニ向ッテ、民間政府共ニ全力ヲ擧ゲテ參ルダラウト思ヒマスノデ、ソレニ付キマシテハ勞働者ノ育成ト其保護、竝ニ先程申上ゲマシタ言葉ガ惡イカモ知レマセスケレドモ、下級技術員ト申シマスカ、此養成ガ是ハ緊急ヲ要スル重大問題ダト思ヒマスノデ、斯ウ云フ點ガ缺ケテ居リマスレバ、助成金ガ十分ニ其效力ヲ爲サナイト云フ結果ニモナルト思ヒマスノデ、此點ニ付テハ早急ニ對策ヲ樹テラレテ、萬全ヲ期セラレタイ、此希望ヲ述ベマシテ本案ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス

○小野委員 私モ本案ニ對シマシテハ、重

大ナル國策ノ一ツトシテ賛成ノ意ヲ表スル
者デアリマス、但シ本案ノ運用ニ當リマシ
テハ、當局ニ於カレマシテモ、本委員會ニ
現ハレマシタ空氣ヲモ十分ニ御諒解下サイ
マシテ、此運用ニ十二分ノ御注意ヲ御願シ
タイト思ヒマス、而シテ附帶決議ニ關シマ
シテモ賛成致シマス

○森田委員長 御諮リ致シマス、討論ハ終
結シマシタ、附帶決議ヲ附シテ原案ニ決ス
ルニ御異議アリマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○森田委員長 御異議ガナケレバ左様ニ決
シマス、ソレデハ本會ニ其通り報告致シマ
ス、是ニテ散會致シマス

午後二時三十分散會